

力的に行われている。地味ではあるが、貴重なデータの集積に日夜努力する観測所の人々に敬意を表したい。

現在稼働中のベースライン観測所は、ここに紹介したケープグリムを含め15箇所だそうである。WMO 報告(1982)によれば、日本では父島にベースライン観測所が設置される予定とのことである。早く実現してこの方面でも日本が世界のために貢献できる日の来ることを期待したい。なお気象庁では、ベースライン観測所のことを基準観測所と呼んでいる。

終わりに、本観測所への筆者の滞在を許して頂き、種々情報を提供して頂いた前所長 Dr. R. Francey に厚く御礼申し上げます。

### 文 献

- Fraser, P.J., 1983: Halocarbons, Baseline 1979-1980, 8-14.  
 ———, 1984: Atmospheric methan and carbon

- monoxide observations at Cape Grim, Tasmania, Baseline 1981-1982, 25-36.  
 Goodman, H.S., 1983: Stable carbon isotopes, Baseline 1979-1980, 5-6.  
 Hyson, P., P.J. Fraser and G.I. Pearman, 1980: A twodimensional transport simulation model for trace atmospheric constituents, Jour. Geophys. Res., **85**, C7, 4443-4456.  
 Osborn, J., I. Galbally and M. Elsworth, 1983: Ozone in the lower atmosphere, Baseline 1979-1980, 6-8.  
 Pearman, G., D. Beardsmore, J. O'Toole and R. O'Brien, 1983: Carbon dioxide, Baseline 1979-1980, 1-5.  
 土屋 喬, 1981: オーストラリアにおける気象業務。天気, **28**, 267-281.  
 WMO, 1981: Summary report on the status of the WMO background monitoring network as at May 1982, WMO.  
 山元龍三郎, 1984: 世界の気候はどう変わるか。天気, **31**, 219-226.

### 日本気象学会および関連学会行事予定

行 事 名	開 催 年 月 日	主 催 団 体 等	場 所
International Cloud Modelling Workshop /Conference	1985年7月15日～19日	WMO	Irsee (ドイツ)
First WMO Workshop on the Diagnosis and Prediction of Monthly and Seasonal Atmospheric Variations over the Globe	1985年7月29日～8月2日	WMO	メリーランド大学(米国)
第19回 夏季大学「新しい気象学」	昭和60年7月30日～8月2日	日本気象学会	気象庁
関西支部(第7回)夏季大学「台風の話」	昭和60年7月31日～8月2日	日本気象学会関西支部	大阪府立労働センター
IAMAP/IAPSO 1985年ハワイ合同研究集会	1985年8月5日～16日		ハワイ州ホノルル
第23回国際地震学・地球内部物理学協会(IASPEI)総会	昭和60年8月19日～30日	地震学会ほか	京王プラザホテル
第3回エアロゾル科学・技術研究討論会講演	昭和60年8月22日・23日	エアロゾル研究協議会	東京理科大学
日本気象学会秋季大会	昭和60年10月29日～31日	日本気象学会	大阪科学技術センター
極東域モンスーンに関する国際研究集会	昭和60年11月5日～8日	組織委員会・日本気象学会	東京大学海洋研究所
第3回アジア流体力学学会議	昭和61年9月1日～5日	アジア流体力学学会議委員会	日本都市センター